

第10回全国書写書道総合大会 令和3年度全国学生書写書道展

主催 一般社団法人日本書字文化協会
共催 公益財団法人文字・活字文化推進機構
後援 文部科学省他

【文部科学大臣賞】

埼玉県・大東文化大学1年
大平 知雅

文字に触れる喜びを実感

先生には、小さい頃から姿勢を正して書きなさいと指導を受けてきました。それは、かなを書く上で一番重要なことだと感じます。姿勢を正すことで手から筆、そして文字へとリズムがつながっていくと個人的に実感できるからです。自分でも頭の中で形作れない時、そのリズムで自分だけの文字を書くことができる気がします。そのため、今回の文字も墨で書く前に、こう書こうと少し想像するだけで、あとはリズムに任せて書きました。その時その時で、文字は少しずつ変わるので、バランスや文字を考慮した上で、2枚で仕上げる席書は、気に入った作品を出品できました。

また、大学もコロナの影響でオンラインになり、配信されたレジュメを印刷するばかりで、ノートに文字を書くという機会がなくなっていました。そのため、書道で文字に触れることに喜びを感じ、今回も楽しく書くことができました。この期間で、文字に触れる大切さを改めて実感し、これからも続けていきたいという思いがより濃くなりました。

そして最後に、指導して下さった先生に感謝を述べると共に、このような大臣賞という大きな賞をいただきありがとうございました。